

令和3年度 長野北幼稚園 「園の自己評価」

1 園の教育目標

- (1) じょうぶな体の子 (2) やさしい心の子 (3) 心ゆたかなかしこい子

2 令和3年度の重点目標

共に遊び、共に学び「できた」「つくれた」「わかった」がいっぱいの子ども

- (1) よく遊びよく食べる丈夫な体の子
 (2) 友だちとなかよくできるやさしい子
 (3) 好奇心いっばいに生活し、気づき、考え、表現する子

3 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	A
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	AB
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	AB
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

4 本年度の取り組み及び来年度への方向

- (1) 今年度もコロナ候の中で今までとは異なる環境となった年であった。その中で 子どもたちの育ちや 今しかできないことを探求する保育に心がけ 全職員で保育にあたってきた。子どもたちの主体性を育むことを保育の柱とす え 試行錯誤しながらであっても 工夫して保育を行うことができ 同時に保育を丁寧に見直す機会ともなった。保護者の皆様の温かなご理解とご協力もあり、園運営全体をスムーズに行うことができたと考えています。
- (2) 異年齢(縦割り保育)も 多く取り入れ 年間を通して継続的な活動とした。その中で子どもたちの育ちがあり 思いやりの気持ちや年齢に応じたかかわり方が少しずつできるようになってきている。また園生活における 子ども同士の安心感にもつながっているように感じられた。
- (3) マスクの着用手指の消毒の徹底等 感染予防活動を子どもたちも身につけ 感染症にはまばからなかった。今後も徹底していきたい。子どもたちが休むことなく登園できることは嬉しく保護者の皆様のご協力の賜物と感謝している。
- (4) 「園の教育環境」については、施設・設備の老朽化に伴い安全面や衛生面での課題が多い。より安全な園生活が送れるように、信学会事務局への要望を継続していきたい。